

5月定例市長記者会見次第

日時：平成28年5月12日(木) 午前9時30分～／場所：庁議室

1 開会

2 情報提供

(1) 市長話題提供

- ① 平成28年熊本地震について 【危機管理課】資料1-1
- ② 一番茶の状況 【お茶振興課】資料1-2
- ③ イタリアペーザロ市との友好都市交流 【生涯学習協働推進課】資料1-3
- ④ 姉妹都市韓国横城郡からの職員の受け入れ（市職員の派遣状況）と訪問団の来日
【生涯学習協働推進課】資料1-4
- ⑤ 2016中国（鄭州）国際観光都市市長フォーラムへの出席 【商業観光課】資料1-5
- ⑥ 協働による育樹・植樹活動 【地域支援課】資料1-6

(2) 報告事項（各課から）

- ① 協働によるまちづくり中央集会 【生涯学習協働推進課】資料2-1
- ② 掛川市子ども読書活動推進計画
第三次計画「掛川ほんわかプラン」の策定 【図書館】資料2-2

(3) 主な行事について

- ① 台湾嘉義県知事の世界農業遺産「静岡の茶草場農法」現地視察 【お茶振興課】
と き：5月13日（金）14:30～16:15
ところ：東山地区
- ② “ふじのくに”まち自慢 食の祭典！ 【商業観光課】資料3-1
2016B級グルメスタジアムinエコパ
と き：5月14日（土）、15日（日）10:00～15:30
ところ：エコパスタジアム
- ③ 平成28年度掛川市土砂災害防災訓練 【危機管理課】資料3-2
と き：5月29日（日）8:00～9:30
ところ：市内全域の土砂災害危険区域

- ④ 海外からの「妊産婦の健康改善ワークショップ」 【地域医療推進課】資料3-3
 視察団の「母子健康行政・希望の丘・ふくしあ」の視察について
 と き：5月30日（月）10:00～16:00
 ところ：中部地域健康医療支援センター会議室
- ⑤ 中央図書館開館15周年記念式典 【図書館】
 と き：6月1日（水）13:30～14:00
 ところ：中央図書館生涯学習ホール
- ⑥ 掛川城下ゆり祭り 【地域支援課】
 と き：6月3日（金）18:30～ 5日（日）18:00
 ところ：掛川城下周辺・三の丸広場
- ⑦ 平成28年度海岸清掃 【維持管理課】
 と き：6月5日（日）6:00～
 ところ：大浜海岸、大須賀海岸
- ⑧ 第25回タミヤGP全日本選手権掛川大会 【商業観光課】
 タミヤ掛川サーキットオープン記念レース
 と き：6月12日（日）10:00～17:30
 ところ：タミヤ掛川サーキット
- ⑨ 平成28年度太田川原野谷川治水水防組合水防演習 【危機管理課】資料3-4
 と き：6月12日（日）9:00～10:50
 ところ：各和・高田地内
 原野谷川高田橋下流右岸（和田岡親水公園）

3 議会日程

全員協議会 5月18日（水）午前9時00分～

4 質疑応答

5 閉 会

次回定例市長記者会見 6月9日（木）午前9時30分～ 庁議室

定例記者会見
 平成28年5月12日
 危機管理課

「平成28年熊本地震」被災地への支援について

1 支援の状況 (5月11日 8:30 現在)

職員派遣	派遣先：熊本県上益城郡嘉島町（かみましきぐん かしまちょう） ※ 県市長会から要請 1 第2陣（4/25～5/3の9日間） 1名（危機管理課） 避難所支援、家屋被害調査を担当 (1) 現地からの報告 ① 避難所支援 ・ 問題点 避難者名簿がない。 間仕切りもなく、プライバシーがない。 避難者は、避難所運営に係わらない。 ・ 対策 聞取調査で、避難者名簿を作成した。 パーティションを設置し、プライバシーの保護を進めた。 避難者自らが避難所運営に参画するシステムをつくる。 ② 家屋被害調査 ・ 応急危険度判定と家屋被害調査の違いがある。 応急危険度判定では、建物は全く無傷であるため緑。 家屋被害調査では、基礎が20cm離れていて、全壊。 ・ 新しい家は大丈夫。耐震補強の大きさがわかる。 2 今後の予定 ・ 第5～8陣（5/12～5/21、5/19～5/28、5/26～6/4、6/2～6/11） ・ 各1名ずつを派遣予定
住 宅	市営住宅の無償提供。（9戸をエントリー）
義 援 金	世界農業遺産7市町へ ・ 「阿蘇の草原の維持と持続的農業」 阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村 ・ 4/22から本庁と2支所で開始。 ・ 広 報（報道、ホームページ、区長会、職員、関係団体など） ※ 5/10現在 380,543円（65件） 日本赤十字（福祉課） ※ 5/10現在 250,876円

2 備考

(1) 「阿蘇の草原の維持と持続的農業」構成市町村 資料 (5月10日 9:00 現在)

市名	避難所	避難者	人的被害				物的被害		
			死者	不明	重傷	軽傷	全壊	半壊	一部損壊
阿蘇市	9	235	2		1	98	92	211	825
南小国町	1	2			1	2		10	80
小国町	7	5			1	4		1	30
産山村	5	0				2	1	5	88
高森町	3	0			2				1
南阿蘇村	6	633	16	1	40	50	150	250	多数
西原村	6	650	5		58		344	1,087	多数
計	37	1,525	23	1	45	156	587	1,564	1,024
熊本県全体	258	12,523	67	1	341	1,249	2,707	4,477	26,485

(2) 地震の発生状況

日時	総回数	最大震度	7	6強	6弱	5強	5弱	4
4月14日(木)	40回	震度7	1	0	1	0	1	9
4月15日(金)	112回	震度6強	0	1	0	0	1	10
4月16日(土)	202回	震度7	1	1	2	1	4	36
4月17日(日)	138回	震度4	0	0	0	0	0	11
4月18日(月)	79回	震度5強	0	0	0	1	0	4
4月19日(火)	81回	震度5強	0	0	0	1	1	2
4月20日(水)	74回	震度4	0	0	0	0	0	1
4月21日(木)	48回	震度4	0	0	0	0	0	2
4月22日(金)	41回	震度4	0	0	0	0	0	1
4月23日(土)	28回	震度3	0	0	0	0	0	0
4月24日(日)	30回	震度3	0	0	0	0	0	0
4月25日(月)	24回	震度4	0	0	0	0	0	1
4月26日(火)	29回	震度3	0	0	0	0	0	0
4月27日(水)	49回	震度3	0	0	0	0	0	0
4月28日(木)	52回	震度3	0	0	0	0	0	3
4月29日(金)	33回	震度5強	0	0	0	1	0	0
4月30日(土)	32回	震度3	0	0	0	0	0	0
5月1日(日)	32回	震度3	0	0	0	0	0	0
5月2日(月)	33回	震度3	0	0	0	0	0	0
5月3日(祝)	25回	震度3	0	0	0	0	0	0
5月4日(祝)	29回	震度4	0	0	0	0	0	3
5月5日(祝)	39回	震度4	0	0	0	0	0	2
5月6日(金)	23回	震度3	0	0	0	0	0	0
5月7日(土)	20回	震度3	0	0	0	0	0	0
5月8日(日)	32回	震度3	0	0	0	0	0	0
5月9日(月)	25回	震度3	0	0	0	0	0	0
5月10日(火)	10回	震度3	0	0	0	0	0	0
合計	1,360回	震度7	2	2	3	4	7	85

派遣職員からの報告

5月定例記者会見
危機管理課

1 県現地支援本部への職員派遣（静岡県市長会の要請）

第2陣 4/25(月)夕～5/3(火)朝 望月恵幸（危機管理課）43才・男
 活動場所 熊本県嘉島町（嘉島町民会館）
 活動内容 被災地支援ニーズの把握、被災町からの要望業務
 派遣規模 県2、市町18
 現地状況 水道、電気、嘉島町内の店舗は再開。

(1) 報告状況

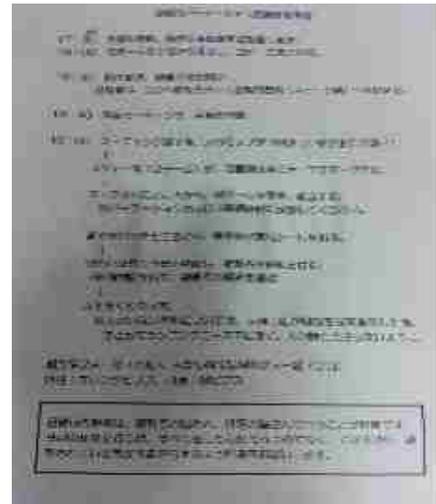
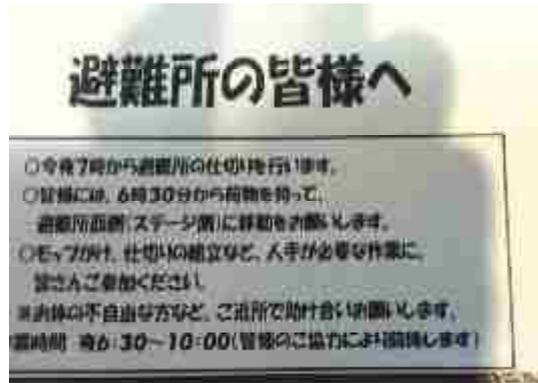
月 日	内 容
4月25日(月) 8:30 15:15 17:00 17:30	<ul style="list-style-type: none"> ・市長報告 ・掛川出発 ・出発式、九州にバスで出発。 ・移動状況報告あり。
4月26日(火) 9:00 17:20	<ul style="list-style-type: none"> ・現地到着。本日は避難所支援を行う。 ・避難所の状況確認による問題点の抽出と今後の運営についての協議。 ・問題点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所運営の要の避難者名簿が作成されていない。 ・ 場所には余裕があるが、間仕切りもなく、プライバシーがない。 ・ 避難者は、避難所運営にあまりかかわらない。 ・これからの対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今夜、避難者に聞き取りをしながら、避難者名簿を作成する。 ・ 出来るだけ早く、パーテーションを設置し、プライバシーの保護を進める。 ・ 避難者の代表を作って、避難者自らが避難所の運営に参画してもらう。





4月27日(水)
17:45

- ・ 4人で避難所支援班として活動している。
- ・ 昨夜、嘉島町職員、静岡県、福島県で、2人1組で聞き取り調査を実施し、避難者台帳を作成。
- ・ その後、嘉島町職員が地区や要配慮者を加味しパーティション配置表を作成。
- ・ 避難者の再配置について、実施方法や周知についての検討。
- ・ チラシを作成し、パーティション設置の周知活動を行いながら、食事の支給を実施。
- ・ 今夜、仕事や自宅から戻ってくる避難者を含めて、パーティションを設置しながら再配置作業を行う。
- ・ 現地入りしてからは、3回程度しか地震は感じていない。
- ・ 周りの店舗は全て開いており、物資はたくさん有り、不足していない。





4月28日(木)
17:10

- ・ 本日は、派遣支援員が配食などの避難所運営を実施。
まだ、避難者が主体となって避難所を運営する体制となっていない。
支援要員が居なくなっても、避難所が自主的に運営できる体制を整備する。
避難者の中から代表者を選出し、多くの人に役割分担をしていく方針。
- ・ パーテーションが設置され、整理されたので、人が訪ねてきても解りやすくなった。場所換えや狭くなったことに対し、大きな苦情はなかった。
- ・ トイレは、水も出るし問題なく使えている。
- ・ ゴミも2日に1回収車が来るため、問題となっていない。
但し、嘉島町に来る途中の熊本市市街地には、26日でも大きなゴミが溢れていた。





赤十字が設置してくれた個室です。授乳室や更衣室としてしようかと考えています。4つあります。

4月29日(祝)

本日午後から、家屋調査班に異動しました。
赤紙の家が目立つ中、応急危険度判定の考えと家屋の被害調査の見方の違いを学びました。

添付の写真は、緑判定のコンクリート造の倉庫(上部は駐車スペース)ですが、建物は全く無傷のまま、20センチ程度建物ごと移動しており、基礎と離れていて、結果は全壊でした。



新しい家は大丈夫なものばかりです。耐震補強の大事さがわかります。

4月30日(土)

災害廃棄物の仮置場へ行きました。生活ゴミ箱は先日報告しました通り、普通に回収されますが、災害廃棄物は山盛りです。町民限定で免許証で確認しています。

益城町は災害廃棄物をいま停止しているため、町外から持ち込もうとする人がふえているそうです。満杯になったので、2日から搬入を一時停止するそうです。



5月1日(日)

引き続き市内「井寺地区」の家屋の被害調査。

昨日までは、涼しい初夏の日和が続いていたが、この日からは日差しが強く気温も高くなる。

九州では夏は台風が多く、そのため瓦屋根の家が多いということ。しかし、この被害の差を見てしまうと、考え物とを感じる。



本日の夜は、自衛隊の風呂へ入る。午前9時～12時と午後5時から9時まで役場駐車場で開設している。中は、脱衣スペースとテント生地の5m×5mくらいの浴槽がある。シャンプー・ボディソープもある。腰くらいまでの高さがあるため、高齢者には入浴は大変なようである。



5月2日(月)



朝、第3陣到着。引き継ぎ。
引き継ぎ前後に少し余裕が有り、役場内を見る。嘉島町の災害対策本部がある。

総務課前では、罹災証明発行の手続きや説明を受けに来た町民の方たちで、長蛇の列ができています。写真で座って説明している人も、今回派遣の吉田町の職員。奥に菊川市の職員もここで支援していました。



農政課前では、県のみなし仮設住宅の希望受付や仮設住宅の説明。こちらも今回派遣の湖西市の職員が前面に出て対応中。



夕、第2陣、現地支援本部引き上げ。
益城町視察。(左写真)この道の両側の家屋の多くが崩れてしまっている。
(右写真)地震を起因とする崖崩れ。もっと大規模な物もあり。



5月3日(祝) 朝、静岡に帰着。

全体を通して

- ・市役所職員ができる限り早く通常業務に戻ることは、責務である。
- ・そのため、避難所の自主運営は必須である。
- ・建物の耐震補強、耐震化、家具の固定は、必須である。
- ・り災証明発行をスムーズにする。
- ・避難所外の避難者(車中泊、テント泊など)への対応を考える必要がある。
- ・支援職員をいかに有効に使うか、事前に検討しておくことも。

記者会見資料
平成28年5月12日
お茶振興課

一番茶の状況について

掛川茶市場一番茶取り扱い実績

年度	数量(kg)	平均単価(kg/円)	金額(千円)
平成22年	625,532	3,023	1,890,927
平成23年	645,322	2,807	1,811,120
平成24年	759,453	2,446	1,857,824
平成25年	523,025	3,036	1,587,909
平成26年	548,260	2,685	1,472,039
平成27年	574,815	2,383	1,369,692
平成28年	534,186	2,476	1,322,180

※5/10現在

【参考】静岡県茶期別荒茶生産量

(単位:t)

年次	総数	一番茶	二番茶	三番茶	四番茶	冬春秋番茶
平成22年	33,400	14,200	9,610	402	198	9,020
平成23年	33,500	14,500	9,850	389	182	8,610
平成24年	33,400	16,100	8,290	380	183	8,460
平成25年	32,200	11,600	11,000	604	191	8,820
平成26年	33,100	12,500	9,960	749	203	9,700
平成27年	31,800	12,600	8,220	896	215	9,830

【参考】府県別荒茶生産量

(単位:t)

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成25年	平成26年	平成27年
静岡県	44,100	40,300	39,400	44,100	33,400	32,200	33,100	31,800
鹿児島県	13,800	15,400	18,900	23,900	24,600	25,600	24,600	22,700
三重県	6,620	6,650	7,410	8,110	7,100	7,130	6,770	6,830
宮崎県	2,760	2,720	3,170	3,660	3,570	4,100	3,870	3,620
京都府	2,510	2,550	3,020	3,300	2,640	3,020	2,920	3,190
全国計	89,900	84,800	89,300	100,000	85,000	84,800	83,500	79,500

担当 お茶振興課お茶振興係 赤堀純久・山本啓介
電話 21-1216

定例記者会見
平成28年5月12日
生涯学習協働推進課

イタリアペーザロ市との友好都市交流について

1 目的

ヨーロッパ大陸との交流は現在まで特にないものの、かねがねヨーロッパ各国の芸術文化や産業振興の先進性や経済活動の大きさについて注目をしつつ交流の機会をうかがっていた中で、昨年ロッシーニ管弦楽団コンサートを開催した縁でペーザロ市からの声かけもあり、同市提案の姉妹都市提携を見据えて、現地視察及び事前協議を行う。

2 経緯

- 平成26年4月 ロッシーニ歌劇場管弦楽団レクイエムコンサート掛川市開催決定
- 平成27年3月 同 コンサート開催(学習センター)
- 平成27年10月 イタリアミラノ万博へ掛川市が出展訪問
出展日及び歓迎会の席上でペーザロ市長らと交流を深める
- 平成28年1月 ペーザロ市から姉妹都市の提携について提案を受ける

3 訪問団概要

(1) 日程

- 平成28年5月29日(日)～6月4日(土)の7日間
- 5月29日(日) 成田空港(発) ボローニャ(着) ペーザロ(泊)
- 5月30日(月)～ ペーザロ市内視察
- 6月2日(木) ローマ市内(在イタリア及び在バチカン日本国大使館訪問)
- 6月3日(金) ローマ(発)
- 6月4日(土) 成田空港(着)

(2) 訪問先

- ① イタリア マルケ州 ペーザロ・エ・ウルビーノ県 ペーザロ市内視察
- ② ローマ市内 在イタリア日本国大使館、在バチカン日本国大使館訪問

(3) 協議の内容(案)

- ① 海外販売販路の拡大
 - ・お茶の嗜好調査を皮切りに、緑茶・メロンなど特産品販売等を行う際の掛川市のヨーロッパにおける活動の拠点とする。
- ② 両市の特産品を通じた販売戦略の促進
 - ・ペーザロ市の工芸品「マジョリカ陶器」と当市の「お茶」のセットによるヨーロッパへの販売戦略の実施ほか
- ③ 芸術文化交流の促進
 - ・作曲家ジョアキーノ・ロッシーニの生誕地である音楽都市との交流の実施(9月下旬に当市に於いて「ロッシーニ管弦楽団コンサート」を予定)
 - ・ロッシーニフェスティバルを通じオペラに触れる機会の提供
 - ・音楽を通じたグローバルな若手人材の育成
- ④ 市民による相互訪問
 - ・友好都市交流及び市民訪問団の派遣

(4) 訪問団構成(14人)

掛川市副市長	伊村義孝
掛川市議会	大石與志登(前議長)
経済関係	鈴木俊光掛川商工会会頭、若杉吉明大東町商工会長ほか5人
観光・お茶関係	戸田佑也(茶販売/観光協会会員)
一般	1人
随行	生涯学習協働推進課2人 お茶振興課1人

(担当 生涯学習協働推進課男女協働係 太田和也
電話 21-1129)

定例記者会見
平成28年5月12日
生涯学習協働推進課

フェンソングン
韓国横城郡からの職員受け入れ等と訪問団来日について

1 目的

両市の相互理解と信頼をさらに深め、友好交流や地域活性化の一層の促進を図り、両市の架け橋となる人材を育成することを目的に実施する。

2 経緯

平成23年11月25日 韓国横城郡との姉妹都市提携に関する協定書締結
平成25年10月3日 相互職員交流の協定書追加締結及び災害時相互応援協定締結
平成27年10月7日 行政研修生の受入についての合意書締結
平成28年6月～ 職員交流開始(訪問団と共に来日)

3 当市の交流の効果

- (1) 横城郡との友好交流の増進及び親密な関係の構築
- (2) 国際化を意識できる組織(職員)となること
- (3) 他自治体(鳥取県八頭町や中国臨海市など横城郡姉妹都市締結)との交流促進
- (4) スポーツ交流の構築(例:トランポリン交流、冬季オリンピック開催地(平昌)でのスノーボード体験など)
- (5) 掛川市民の国際理解の促進
- (6) 国際的なネットワークの拡大、海外への情報発信。韓国人観光客誘客の促進

4 横城郡職員受入の概要

- (1) 研修期間 平成28年6月1日～平成29年3月31日(10ヶ月)
- (2) 研修職員 韓国横城郡職員 1人 46歳 男性(H28.4.1現在)
- (3) 所属部署 生涯学習協働推進課 男女協働係
- (4) 研修内容 ①日本及び掛川市の行政システム全般
②各部署内業務の体験等

5 訪問団来日

- (1) 日程 6月7日(火)～10日(金)
- (2) 目的 友好交流訪問
- (3) 訪問団員 横城郡職員6人(研修職員含む)

6 掛川市職員派遣の状況

- (1) 研修期間 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年)
- (2) 研修職員 掛川市職員 主査 1人 44歳 男性(H28.4.1現在)
- (3) 研修内容 ※29年4月以降は横城郡と調整
平成28年4月1日～平成28年5月31日 静岡県ソウル事務所(研修及び情報収集)
平成28年6月1日～平成29年3月31日 横城郡(行政システム全般研修)
- (4) 活動状況
 - ・事務所事務
 - ・SJC(ソウルジャパンクラブ)運輸・サービス委員会参加
 - ・2016ソウル国際ワイン&酒類博覧会視察
 - ・静岡県人会への参加による情報収集及び交流
 - ・ソウル市内の飲食店の調査及び視察

〔 担当 生涯学習協働推進課男女協働係 太田和也
電話 21-1129 〕

定例記者会見
平成28年5月12日
商業観光課

2016中国（鄭州）^{ていしゅう}国際観光都市市長フォーラム出席について

- 1 目的 会議や国際観光都市風采ショーなどを通じて、世界観光都市の市長、権威のある国際機関の知恵を集め、観光における都市間相互連携の重要な推進的役割を模索することを目的とする。
- 2 経緯 昨年、中国国家観光局駐日本代表処の当時の主席代表「張西龍」^{ちやうせいりゆう}氏に「茶エンナーレ」への協力をお願いしたのが縁となり、2016中国国際観光都市市長フォーラムに招待を受けた。
- 3 名称 2016中国（鄭州）国際観光都市市長フォーラム
テーマ「観光・都市コネクティビティの絆」
主催：中国国家観光局・世界観光機関・河南省人民政府
後援：世界旅行ツーリズム協議会・太平洋アジア観光協会
- 4 開催実績 2008年、2010年、2012年、2014年に4回開催。同フォーラムは、世界観光業界において展望性のある世界において盛会となり、世界観光業の発展に重要な推進的役割を果たしており、世界観光業界と世界観光都市から高く評価され、広く受け入れられている。
- 5 参加国等 世界50カ国158都市（予定）
- 6 日時 平成28年5月23日（月）～5月27日（金）
- 7 場所 中国河南省鄭州市
- 8 主内容 5/23：渡航、鄭州市着
5/24：フォーラム開幕式・フォーラムテーマ会議、フォーラム・テーマ別討論会、河南省観光製品説明会
5/25：「観光・文化」分科会・国際観光都市風采ショー、「観光・金融」分科会
5/26：河南省国際観光製品視察
5/27：フォーラムから移動し天津市の周恩来鄧穎超^{とうえいちやう}記念館訪問
帰航、掛川市着
- 9 掛川市参加者 浅井副市長、鈴木環境経済部長

〔担当 環境経済部商業観光課観光交流係
電話 21-1149〕

定例記者会見
平成28年5月12日
地域支援課

協働による育樹・植樹活動について

森づくりによる安全安心な都市づくりは、東日本大震災や近年の各地での大震災の教訓からその取り組みが注目されています。掛川市では、「命を守る希望の森づくり事業」により、市民・団体・企業・行政が協働して市内の海岸防災林・病院などへの植樹や育樹に取り組んでいます。

このため、本年度も下記のとおり育樹祭、植樹祭を開催します。

記

1 タイコエレクトロニクスジャパン合同会社による育樹祭

- (1) 日時 5/14(土) 午後1時～
- (2) 場所 中東遠総合医療センター
- (3) 参加者 社員 約200人
- (4) 作業内容 下草刈り

2 ヤマハの森 植樹祭

- (1) 日時 5/21(土) 午前9時～
- (2) 場所 潮騒の杜（沖之須地内 掛川モデル施工地）
- (3) 参加者 社員（ヤマハモーターパワープロダクツ(株)）・市民 約100人
- (4) 作業内容 植樹（面積 約560㎡・282本）

3 希望の森づくり「潮騒の杜」植樹祭

- (1) 日時 6/11(土) 午前9時～
- (2) 場所 潮騒の杜（沖之須地内 掛川モデル施工地）
- (3) 参加者 市民・パートナーシップ協定企業、団体 約500人
- (4) 作業内容 植樹（面積 約1,000㎡・3,150本）

担当：地域支援課 みどり推進係 西郷和寿
電話：0537-21-1150 FAX：0537-21-1165

次世代につなぐ安心のきすな絆

掛川潮騒の杜



弁財天川東のイメージ図

「掛川モデル」基本計画

掛川市の海岸には、海からの強い季節風や飛砂から農地や宅地を守るため、“斜め海岸林”と呼ばれる国内唯一の貴重な景観が形成されています。

当市では、南海トラフ巨大地震により想定される最大クラス（レベル2）の津波により浸水被害が想定されていることから、“地震・津波による死亡者ゼロ”を目指し、レベ

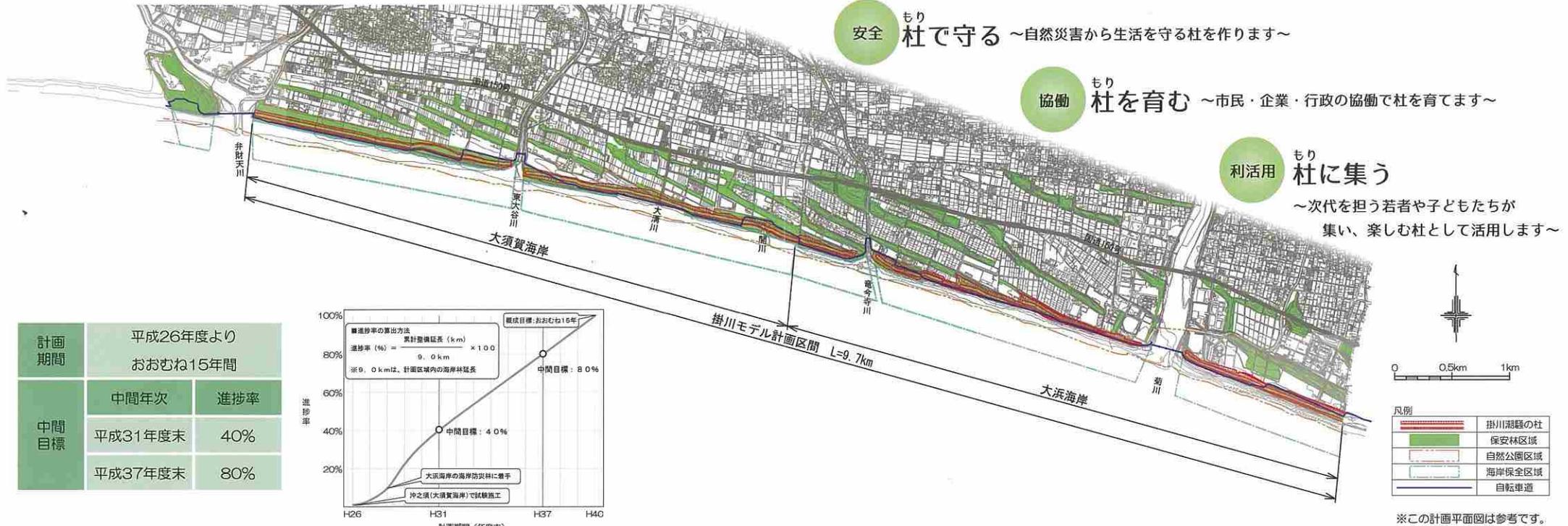
ル2津波に対応した高さに防潮堤を嵩上げし、クロマツや広葉樹を植栽する海岸防災林強化事業「掛川モデル」を、平成26年度より着手しました。盛土や植樹などの工事から維持管理までを、市民・企業との協働と、国や県などの事業との連携、協力により行い、次代を担う若者や子どもたちが集う「掛川潮騒の杜」づくりを推進していきます。

地域の代表者や関係団体により構成された「掛川モデル推進協議会」の意見をもとに、整備を推進するための基本計画を平成28年2月に策定しました。



施工中の写真

次世代につなぐ安心の絆 掛川潮騒の杜

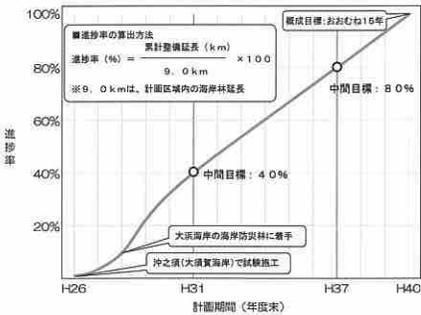


安全 もり杜で守る ~自然災害から生活を守る杜を作ります~

協働 もり杜を育む ~市民・企業・行政の協働で杜を育てます~

利活用 もりに集う ~次代を担う若者や子どもたちが集い、楽しむ杜として活用します~

計画期間	平成26年度より おおむね15年間	
中間目標	中間年次	進捗率
	平成31年度末	40%
	平成37年度末	80%



凡例

	掛川潮騒の杜
	保安林区域
	自然公園区域
	海岸保全区域
	自転車道

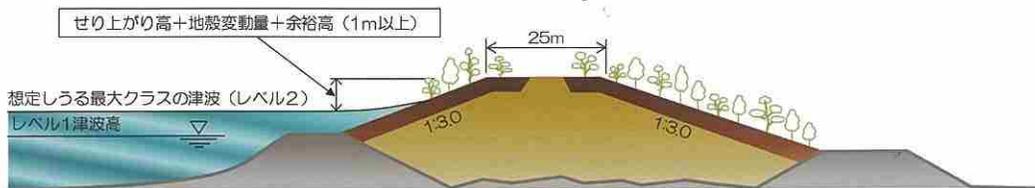
※この計画平面図は参考です。

もり杜で守る

地域の生命、財産を守るため、津波や高潮、強風などに対する減災機能を有する海岸林を作ります。

整備計画

- 想定しうる最大クラスの津波高に地殻変動量と防潮堤に衝突した際のせり上がりの高さ、そして余裕高を加えた高さまで既存の海岸林を嵩上げ
- 津波による侵食を考慮して、天端の幅は25mを標準
- 海側・陸側の法勾配は3割(約18度)を標準。ただし、背後地に窪地ができて水が溜まらないように勾配を調整
- 植栽する樹木の根が十分な深さまで張るように、厚さ2mの生育基盤盛土を実施

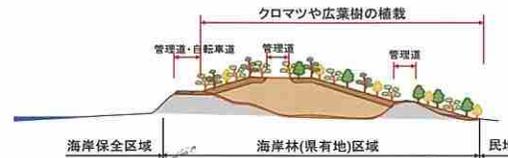


整備パターン

海岸林(固有地)の幅、背後地の条件により、標準として以下の4つの整備パターンに分類されます。

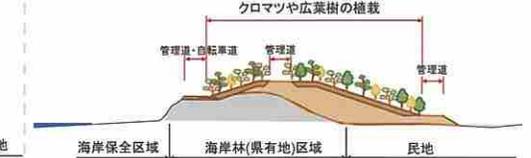
<パターンA>

- 海岸林の幅が広く、その中で盛土
- 海岸線の50%を占め、優先的に整備



<パターンB>

- 海岸林の幅が狭く、背後地(農地等)に影響
- 海岸線の40%を占め、パターンAの次に整備



<パターンC>

- 海岸林の幅が狭く、背後地(風力発電)に影響
- 協議の上、構造物等を設置しながら盛土
- 工作物が近接する一部区間



<パターンD>

- 海岸林の幅が狭く、背後地(工場等)に影響
- 協議の上、構造物等を設置しながら盛土
- 海岸線の約10%を占める

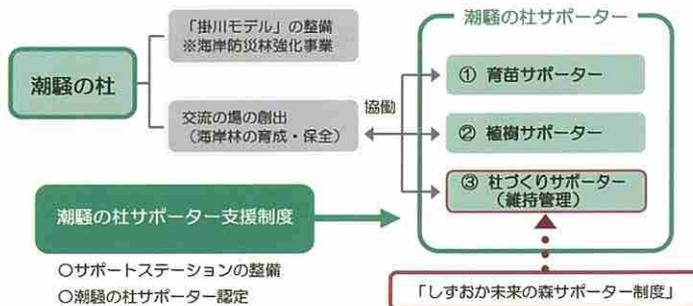


もり 杜を育む

植樹祭や育樹祭の開催など、整備、維持管理活動を市民や企業等と協働で進めるとともに国や県との連携、協力により行います。

潮騒の杜サポーター制度

潮騒の杜づくりを円滑に進めるため、市民・企業等と行政が協働による取り組みの体制「潮騒の杜サポーター制度」が必要です。



育苗サポーター



植樹サポーター



社づくりサポーター

潮騒の杜サポーター支援制度

市民・企業等と行政が、潮騒の杜づくりを協働して円滑に進めるため、支援が求められます。

潮騒の杜サポートステーション

・サポーターの活動に必要なスペースとして、「潮騒の杜サポートステーション」を配置

潮騒の杜サポーターの認定

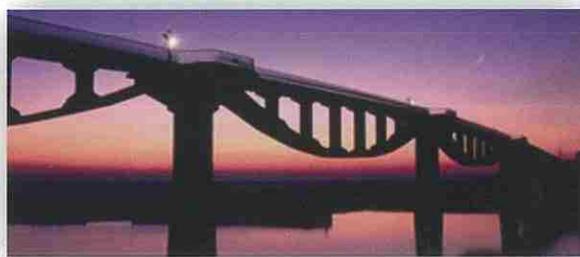
・認定証の発行や認定看板の設置等、潮騒の杜づくりに参加いただく企業を支援

もり 杜に集う

地域での暮らしにうるおいや安らぎを感じることができるよう、またイベントや学習会への参加など若者や子どもたちが集う場として活用していきます。



太平洋岸自転車道



潮騒橋

内陸フロンティア 「掛川市海岸命を守る希望の森づくり地区」推進区域

区域の範囲

指定日・・・平成26年10月14日

政策課題・・・レベル2に対応したより安全なハード整備

解決策・・・「掛川モデル」の整備

有事は津波防御施設、平時は森林レクリエーションや交流の場を創出

事業内容・・・南海トラフ巨大地震津波に対応する防潮堤の整備

海岸防災林の枯損した松林の再生



次世代につなぐ安心の絆
掛川潮騒の杜

お問い合わせ先：掛川市役所都市建設部事業調整室

〒436-8650 静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1

電話：0537-21-1108 FAX：0537-21-1165

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/life/bousai/tunami/kakegawamoderu.html>

E-mail: jigyo-suisin@city.kakegawa.shizuoka.jp



「希望の森づくり」実績

(H24～H28.3 現在)



No.	名称	とき	ところ	内容		
				面積(m ²)	本数(本)	人数(人)
①	浜野海岸防災林植樹祭	平成 24 年 6 月 2 日(日)	浜野	5,000	15,500	1,400
②	第 1 回中東遠総合医療センター植樹祭	平成 24 年 10 月 27 日(土)	中東遠総合医療センター	7,500	23,000	3,300
③	沖之須海岸防災林植樹祭	平成 25 年 3 月 23 日(土)	沖之須	3,000	9,000	1,200
④	希望の丘植樹祭	平成 25 年 3 月 24 日(日)	旧市立総合病院	600	1,800	550
⑤	大浜中学校植樹祭	平成 25 年 9 月 30 日(月)	大浜中学校	300	1,000	400
⑥	千浜海岸防災林植樹祭	平成 25 年 10 月 19 日(土)	千浜	1,000	3,000	600
⑦	国安海岸防災林植樹祭	平成 25 年 10 月 20 日(日)	国安	3,000	9,000	600
⑧	大渕海岸防災林植樹祭	平成 26 年 3 月 1 日(土)	大渕	2,500	4,500	800
⑨	第 2 回中東遠総合医療センター植樹祭	平成 26 年 10 月 26 日(日)	中東遠総合医療センター	330	1,000	150
⑩	浜川新田海岸防災林記念植樹祭	平成 26 年 11 月 29 日(土)	浜川新田	1,000	3,500	500
⑪	沖之須植樹祭	平成 27 年 6 月 13 日(土)	沖之須	3,300	10,500	1,100
⑫	沖之須海岸防災林育樹祭	平成 27 年 9 月 27 日(日)	沖之須	—	—	200
⑬	浜川新田海岸防災林育樹祭	平成 27 年 9 月 27 日(日)	浜川新田	—	—	200
⑭	中東遠総合医療センター育樹祭	平成 27 年 11 月 14 日(土)	中東遠総合医療センター	—	—	250
合計				27,530	81,800	11,250

定例記者会見
平成28年5月12日
生涯学習協働推進課

平成28年度 協働によるまちづくり中央集会 開催要領

- 1 名称 「協働によるまちづくり中央集会」
平成28年度は、地区まちづくり協議会が市内すべての地区で始動する節目の年となります。これを機会に、これまでの「市民総代会システム」を「協働によるまちづくりシステム」へ発展的に移行し、さらなる市民参画の拡大と内容の充実を目指して名称を変更します。
- 2 趣 旨 自治区三役や地区まちづくり協議会役員をはじめ市内主要団体の役員等が一堂に参集し、当該年度の主要施策、事業及び予算等について、市民と行政が情報を共有し合い、市政に関する全市的な施策についての広報・広聴の機会とします。
- 3 参集範囲 自治区役員、地区まちづくり協議会役員、地域生涯学習（地区）センター長・事務長、地区福祉協議会、市立小・中学校長、民生委員、農業委員、社会福祉協議会、商工会議所・商工会、JA、シニアクラブ役員、地域内各種団体代表等
- 4 開催場所 生涯学習センター ホール（1,081席）
- 5 開催日時 平成28年5月28日（土） 午前9時30分から午後0時30分
※午前10時35分～午後0時20分 講演会
- 6 実施主体 共催＝掛川市、掛川市区長会連合会、
掛川市地区まちづくり協議会連絡会

7 内 容 ※（ ）内はおおよその時間

No.	次 第	所要時間
1	開 会（区長会連合会副会長）	（5分）
2	あいさつ（区長会連合会会長）	（5分）
3	自治区役員功労者表彰（市長・区長会連合会会長表彰等）	（20分）
4	来賓あいさつ及び紹介（市議会議長・県議会議員）	（10分）
5	市長あいさつ及び施政方針	（20分）
6	平成28年度地区集会共通テーマ発表〔区長会連合会より〕 『（今後区長会と調整）』	（5分）
7	【講演会】10:35～12:10 終了12:20予定 講演内容『金融、経済、政治…、どうなる日本！ ～いま起こっていること、これから起きること』 講師 経済ジャーナリスト 須田慎一郎氏	（95分）
	※質疑応答10分程度	（5分）
8	開 会（区長会連合会副会長）	

担当者名：生涯学習協働推進課自治活動支援係 松永・清水
電話番号：21-1129（内線2296）

定例記者会見
平成28年5月12日
図書館

「掛川市子ども読書活動推進計画：第三次計画（掛川ほんわかプラン）」について

1 主旨

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであり、積極的にその環境の整備を推進していくことが極めて重要です。

掛川市では、本計画により、家庭でも地域でも園・学校でも、市民の皆様とも広く協働し、子どもの読書環境を改善し、より一層子どもの読書活動を推進してまいります。

2 法的根拠

「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年12月施行）第9条第2項にもとづく、掛川市における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画

3 経緯

平成17年9月	「第一次計画」策定（平成17年9月～平成22年度）
平成24年3月	「第二次計画」策定（平成24年度～平成28年度）
平成27年7月以降	掛川市子ども読書活動推進会議で第三次計画案を検討
平成28年2月1日 ～3月1日	「第三次計画（案）」パブリックコメント（19件4人）
平成28年4月	「第三次計画」決定

4 第三次計画の主な内容

(1) 計画期間 平成28年度～平成32年度（5年間）

「掛川市第二次総合計画」や「教育大綱かけがわ」などと整合を図るため1年前倒し

(2) 基本方針

- ① 家庭・地域・学校を通じた社会全体の取り組み
・ 目指す未来の子ども像＝「生きる力」を身に付けた子ども（追加）
- ② 施設・設備など読書環境の整備・充実
- ③ 読書活動の重要性の普及啓発

(3) 子どもの読書活動推進のための施策（おもな改正点）

- ① 家庭・地域
・ 乳幼児検診でのブックリスト等の配付

現在 6か月児相談時に絵本を配付する事業を実施（こんにちは絵本事業）
→平成28年度より、新たに2歳2か月児健診で絵本を配付する事業を開始

② 認定子ども園・幼保園・幼稚園・保育所

・努力目標

「毎日読み聞かせを実施している園、保護者への啓発をしている園100%」

③ 小・中学校

◆学校の体制づくり

・「かけがわ学力向上ものがたり」における読書活動の推進

読書好きの児童生徒は国語と算数の平均正答率が高い傾向→読書で考える力を

◆学校図書館の整備・充実

・図書標準（学校図書館蔵書の基準）中学校での早期達成、掛川独自の基準検討

・学校図書館を学習センター、情報センターとして整備

・学校司書、司書教諭等の人的配置の推進

努力目標「全校への学校司書、司書教諭の配置」

平成26年6月の学校図書館法改正による学校司書設置の努力義務を反映

学校司書の人数	31校中	H26 4人12校	H27 6人18校	H28 8人24校
学校司書の配置率	小学校	H26 40.9%	H27 54.5%	H28 68.2%
	中学校	H26 33.3%	H27 66.6%	H28 100.0%
	合計	H26 38.7%	H27 58.1%	H28 77.4%

◆読書活動及び学校図書館を活用した学習活動の充実

・学習の中で、本に興味を持たせたり、資料として本を活用

読書が好きだと答える掛川市の児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査結果)				
(平成27年度)	掛川市	小学生 72.6%	中学生 71.5%	→ 努力目標 100%
	静岡県	小学生 70.1%	中学生 71.2%	
	全国	小学生 72.8%	中学生 67.9%	

④ 高等学校

・高校生が読書に親しむ機会の充実。ブックトークやビブリオバトル等の取り組み

⑤ 普及啓発・広報等の推進

・平成27年度から図書館活動グループと図書館の協働で「こどもとしょかんまつり」

担当 図書館 奥野寿夫・富田正昭
電話 24-5921

こんにちは
えほん

もっと



掛川市立図書館

掛川市子ども読書活動推進計画

第三次計画

本 輪 架

掛川ほんわかプラン

～ 子どもたちの未来のために

広げよう 読書の輪 つなげよう 心の架け橋 ～



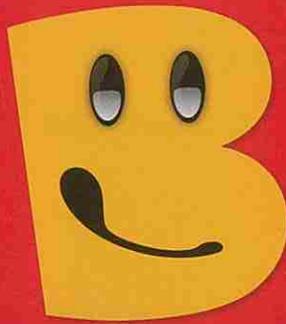
平成28年4月

掛川市教育委員会

54グルメ集結!! “ふじのくに” まち自慢 食の祭典!

資料3-1

2016 **B級** **グルメ**
スタジアム



in **エコパ**

5/14 [sat]・15 [sun]

Kyu 会場=エコパスタジアム
時間=10:00-15:30

入場無料

店頭直販

- 主催/2016 B級グルメ スタジアムinエコパ 実行委員会
静岡遠州観光ネットワーク(磐田市観光協会、袋井市観光協会、掛川観光協会、菊川市観光協会、御前崎市観光協会、森町観光協会)、エコパハウス、静岡新聞社・静岡放送
- 共催/富士山静岡空港利用促進協議会
- 後援/静岡県、(一社)静岡県商工会議所連合会、(公社)静岡県観光協会、袋井市、磐田市、掛川市、菊川市、御前崎市、森町、袋井商工会議所、磐田商工会議所、掛川商工会議所、浅羽町商工会、菊川市商工会
- 協賛/SUNTORY



JR愛野駅から
徒歩15分



2016B級グルメスタジアムinエコパ 実行委員会事務局 TEL0538-41-1800 <http://www.ecopa.jp/bgs/> 静岡県袋井市愛野2300-1

イベント会場・駐車場は混雑が予想されます。また、会場内ではアルコール類も販売しておりますので、公共交通機関のご利用をおすすめします。

2016 B級グルメスタジアム in エコパ

出展グルメ一覧

県外グルメ

福島県いわき市 うに貝焼き 有限会社カナリシーフーズ	新潟県糸魚川市 糸魚川ブラック焼きそば 糸魚川うまいもん会 (糸魚川ブラック焼きそば応援隊)	神奈川県相模原市 なつかしい給食あげばん 丹沢あんぱん 株式会社オギノパン	兵庫県西宮市 甲子園ヒーロー揚げ 西宮・甲子園ヒーロー揚げ推進委員会	香川県 讃岐肉まんコロッケ 讃岐ご当地グルメ連合会
富山県入善町 入善ブラウンラーメン 入善レッドラーメン 合同会社善商	福井県鯖江市 サバエドッグ ミート&デリカささき	神奈川県大和市 かながわ 大和おへそ やきそば モバイル1	兵庫県神戸市 明石焼 有限会社 濱商	大分県宇佐市 宇佐からあげ 裡閣
富山県富山市 富山ブラック焼きそば 株式会社P・M・C	長野県飯綱町 信濃地鶏の炙り焼き・ ゴジラ(手羽肉) 有限会社 信濃農園	神奈川県厚木市 厚木シロコロ・ホルモン 厚木シロコロ・ホルモン探険隊	富士山静岡空港就航先グルメ	
富山県高岡市 高岡グリーンラーメン 富山ブラックラーメン 合同会社高岡グリーンプロダクツ	長野県塩尻市 しおじり 山賊焼 しおじり山賊焼の会	神奈川県鎌倉市 鎌倉ひきねぎ焼き 津久井	北海道小樽市 タコザンギ 小樽飯櫃(おたる ぼんき)	鹿児島県 薩摩スープカレー かつおの腹皮 さつまいも産業振興協同組合(さつまいもの館)
新潟県新潟市 ブラックチキン からあげ屋台いちむら	長野県伊那市 春の桜薫る信州伊那餃子 信州りんご蒸し饅頭 伊那餃子会	愛知県刈谷市 愛知の醤油たこ焼き 西尾の抹茶かき氷 株式会社 皓介	北海道札幌市 噴火湾産蒸しホタテの稚貝盛 ズワイガニの甲羅盛 株式会社コネクション	韓国 韓国屋台グルメ (海鮮チヂミ、トッポキ) 在日本大韓国民団静岡県地方本部
新潟県長岡市 魚沼発炭火焼き鮎 いろり茶屋火処	長野県飯田市 飯田五平もち 飯田五平もち楽会	岐阜県飛騨市 ひだコロッケ (一社)飛騨市観光協会	福岡県北九州市 小倉発祥焼うどん 小倉焼うどん研究所	台湾 雪花氷(シェーファービン) 小台湾
新潟県三条市 鶏の半身カレー揚げ 元祖新潟タレからあげ 炭焼き・からあげ専門店 とりい	山梨県中央市 青春のトマト焼きそば 山梨県中央市まちづくりトマト計画	京都府 鯖寿司 穴子寿司 寿司大森		

県内グルメ

袋井市 袋井宿たまごふわふわ 袋井宿たまごふわふわほっと隊	森町 亥のちゃんドック 亥のちゃんソーセージ 薄塩元気プロジェクト	袋井市 お好みふくやき おとうちゃん	掛川市大東町 大東コロッケ 大東町とん平
御前崎市 御前崎カレー 御前崎市観光協会	磐田市 かつおの 味噌たたきバーガー かつおの味噌たたきの会	三島市 みしまコロッケ みしまコロッケばん みしまコロッケの会(グループ石渡食品)	伊豆 THIS 伊豆 しいたけバーガー THIS 伊豆 SHIITAKEバーガーキッチン
菊川市 きくがわガレット きくがわガレット研究会	磐田市 磐田おもしろカレー 磐田食文化研究会	浜松市 遠州焼き 遠州焼き広め隊	西伊豆町 海賊焼 佐野製麺株式会社
掛川市 掛川いも汁 掛川山いも揚げ 掛川観光協会	長泉町 長泉あしたかつ 長泉あしたかつ推進協議会 (株式会社東平商会)	静岡県清水区 清水もつカレー 清水もつカレー総合研究所	富士市 牛タン100% ハンバーガー 牛タンハンバーガー 普及の会
袋井市浅羽 ふくろい遠州 おはたき肉まき おはたき研究会	伊東市 いとうナゲット 伊豆・いとう地魚王国	菊川市 豚茶もつから揚げ 菊川市商工会内菊川地域ブランド認定委員会 (マルマツ食品有限公司)	富士市 おこたま おこたま普及の会

高校生F級グルメ

- 熱海市 **いかめんチップス(物販)**
(土曜のみ出展)
静岡県立熱海高等学校
- 浜松市引佐町 **てんぐ焼**
静岡県立浜松湖北高等学校
- 岐阜県恵那市 **五平うどん**
岐阜県立恵那農業高等学校

**全国54の
B級グルメが
エコパに
集結!**

定例記者会見
平成28年5月12日
危機管理課

平成28年度 掛川市土砂災害防災訓練実施計画

統一スローガン 「普段の備えが、命を守る」

1 趣 旨

台風等の大雨や地震などによる土砂災害の危険性のある区域内の住民一人一人が、自分の命を守るために、家庭の避難計画に基づいた避難行動を実践し、避難のタイミングや避難場所、避難経路の確認と検証を図る。

2 実施日時

平成28年5月29日（日） 午前8時00分～9時30分

3 対象地域

市内全域の土砂災害危険区域

4 訓練内容

(1) 避難行動の実践

住民は、「家庭の避難計画」に基づく立ち退き避難を実践し、避難のタイミング・避難場所・避難経路・避難に要する時間等を検証するとともに熊本地震をふまえ、地震により土砂災害が発生することを考え、家庭の避難計画を見直す。

(2) 避難行動要支援者等への支援体制の検証

各自主防災会は、高齢者や障害のある方に対して、個別支援計画により適切な避難支援を行うなど、避難行動要支援者等の支援体制の検証を行う。

(3) 情報収集体制の検証

デジタル無線機及び地域防災無線機を使用し、各自主防災会から災害対策支部、さらに本部への連絡体制を確認、情報収集体制の検証を行う。

5 同報無線放送

8時00分 避難準備情報

8時30分 避難勧告

9時30分 避難勧告解除

6 訓練の縮小又は中止の決定

(1) 東海地震に関連する情報が発表された場合、直ちに訓練を中止する。

(2) 県内に津波注意報が発表された場合及び掛川市で震度4以上の地震が発生した場合並びに気象警報（大雨、洪水、暴風）が発表された場合は、直ちに被害情報の収集を行い、訓練の続行、縮小または中止を決定する。

(3) 掛川市に津波警報が発表された場合及び震度5弱以上の地震が発生した場合、直ちに訓練を中止する。

(4) その他災害事案が発生した場合、当該事案の状況により訓練を縮小または中止する。

危機管理課防災対策係

担当：平井・曾田

電話：0537-21-1131

定例記者会見
平成28年5月12日
地域医療推進課

海外からの「妊産婦の健康改善ワークショップ」視察団の
「掛川市の母子保健行政・希望の丘・ふくしあ」の視察について

1 内 容

公益財団法人ジョイセフが、独立行政法人国際協力機構（JICA）の委託により開発途上国の母子保健関係者が日本のリプロダクティブ・ヘルス/母子保健分野の経験を学ぶことで妊産婦の健康改善を目指す研修を実施するもので、その一環として、静岡県で5日間研修を行うにあたり、掛川市の母子保健活動や「希望の丘」と「ふくしあ」を視察します。

2 日 時 平成28年5月30日（月）午前10時から午後4時

3 会 場 中部地域健康医療支援センター 会議室 （掛川市杉谷南一丁目1-1）

4 訪問者

各国政府機関行政（GO）において、リプロダクティブ・ヘルス/母子保健分野の企画・実施・管理・評価等に係わる担当官（アジア、中東、大洋州、アフリカより14名程度）

5 行 程

10:00 あいさつ、オリエンテーション

10:10 「希望の丘」について説明・施設見学

（かけがわのぞみ保育園、特別養護老人ホーム ラスール掛川、中部ふくしあ）

12:00 昼食

13:00 「ふくしあ」、「掛川市の母子保健活動」について説明

15:30 市長訪問

16:00 終了

6 駐車場 中部ふくしあ棟駐車場に用意してあります。

7 参 考

○リプロダクティブ・ヘルス

「性と生殖に関する健康」と和訳されており、妊娠・出産・中絶に関わる女性の生命の安全や健康を重視しようとする考えです。

○公益財団法人ジョイセフ

開発途上国をはじめとする世界の人々が健康で幸せな生活を送れるよう活動する民間公益団体です。

○独立行政法人国際協力機構（JICA）

開発途上国に対する政府の国際協力事業の一元的な実施機関です。JICAボランティアには、青年海外協力隊、シニア海外ボランティア等があります。

担当 地域医療推進課 山崎貞子・榛葉馨
電話 21-1324

定例記者会見
平成28年5月12日
危機管理課

平成28年度太田川原野谷川治水水防組合水防演習実施要領

1 目的

台風等の災害に備え、水防演習を通じて水防作業技術の習得と水防精神の高揚を図るとともに、これら関係機関と連携を密にし、協力を得て水防体制を強化することを目的とする。

2 実施日時

平成28年6月12日(日) 集合 午前 8時45分
雨天決行 開始 午前 9時00分
終了 午前10時50分(予定)

3 実施場所

掛川市高田・各和地先 原野谷川高田橋下流右岸(和田岡親水公園)

4 組織

	職 名	氏 名
演習本部長	組合管理者 袋井市長	原田英之
演習副本部長	掛川市長	松井三郎
	磐田市長	渡部修
	森町長	太田康雄
	掛川警察署長	手老隆
	中部電力(株)掛川営業所長	伊藤重雄
	西日本電信電話(株)静岡支店長	土井内裕章
	掛川建設業協同組合	鈴木俊光
演習本部付	掛川市危機管理監兼危機管理部長	中村克巳
	掛川市消防本部消防長	白畑喜久雄
	磐田市消防本部消防長	山下重仁
	袋井市森町広域行政組合消防長	牧野敏男
	掛川市和田岡地区区長会長	鈴木康紀
	掛川市赤十字奉仕団委員長	鈴木静江
演習団長	掛川市水防団長	遠藤健太郎
演習副団長	磐田市水防団長	寺田博紀
	袋井市水防団長	高橋竜二
	森町水防団長	今村全伸

5 参加団体

組合管内水防団、掛川警察署、中部電力(株)掛川営業所、NTT西日本(株)静岡支店、掛川建設業協同組合、掛川市和田岡地区、和田岡親水公園管理委員会、掛川市赤十字奉仕団、袋井土木事務所・掛川市中央消防署・掛川市

6 演習実施種目（人数は予定）

演習種目名	合計人数	実施団体名	団体別人数
気象情報、警報の伝達 及び被害情報の収集	5	水防演習本部 掛川市危機管理課	5
堤防巡視	5	掛川市水防団	5
避難広報	5	掛川市水防団	5
避難・誘導、交通規制	112	掛川市水防団	5
		掛川警察署	5
		掛川市和田岡地区	100
		和田岡親水公園管理委員会	2
緊急炊き出し	20	掛川市赤十字奉仕団	20
緊急電話架設	7	NTT西日本(株)静岡支店	7
緊急電力施設復旧	6	中部電力(株)掛川営業所	6
土のうこしらえ 1箇所	45	和田岡地区自主防災会	15
		掛川市水防団	20
		磐田市水防団	10
大型積土のう工 1箇所	10	掛川建設業協同組合	10
せき板工 1箇所	10	袋井市水防団	10
シート張り工 1箇所	10	森町水防団	10
積土のう工 2箇所	40	磐田市水防団	20
		森町水防団	20
月の輪工 2箇所	40	掛川市水防団	20
		袋井市水防団	20
流木除去 1箇所	10	掛川市水防団	10
救出・救護 2箇所	16	掛川市中央消防署	16

7 演習出動人員（報告中）

掛川市水防団	名	磐田市水防団	名	袋井市水防団	名
森町水防団	名	掛川警察署	名	中部電力(株)	名
NTT西日本(株)	名	掛川建設業協同組合	名	掛川市和田岡地区	名
和田岡親水公園管理委員会	名	掛川市赤十字奉仕団	名	掛川市中央消防署	名
磐田市	名	袋井市	名	森町	名
掛川市	名			合計	名

8 演習中止の場合

管内に大雨・洪水等の気象警報が発令された場合、及び災害が発生した場合は訓練中止とする。